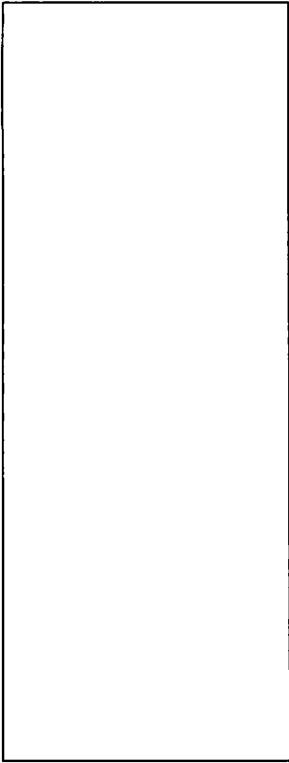


天 てん

天体 てんたい

夜、空を見あげると、たくさん星が見えるはずですが、町のなかでは空気がよごれていてあまりみられませんね。星には名前がつけられています。知っている星の名前を次の空白に書いて下さい。



天は神さまのすまい

むかしの人たちは、神さまがどこにおられるかと聞かれたら、指を上ゆび うえに指して、天てんにおられると答えました。宇宙うちゅうがこんなにひろいものとは思っていませんでした。地球ちきゅうは平らで、地ちのはてにいくと、落おちてしまうと考かんえていました。地面じめんの下には、よみがあり、上うえには、空そらがあつて、そこを太陽たいようや月がつがいたりきたりしていると考かんえていました。このような宇宙うちゅうの考かんえをもっていれば、神かみさまは、きっと天てんにおられると考かんえてもおかしくありません。

わる ひと ち した
悪い人は地の下のよみに落とされ、よい人は天にあげ
られて、神さまのもとに行くと考えるようになりま
した。

天てんにあげられたイエスさま

イエスさまが天てんにあげられるという物語ものがたりは、イエ
スさまが、神かみさまの子どもであり、十字架じゅうじかにかけて殺ころ
されても、神かみさまとともにいつも天てんにいて、私わたしたちを
見守みまもっていてくださることを示しめしています。

イエスさまは、死しなれた後あとも、私わたしたちとともにい
て、いつも力ちからづけてくださっています。イエスさま
は一人ひとりひとりの心こころの中なかにいて、私わたしたちが弱よわっている

ときに、励はげましたり、勇気ゆうきづけたりしてくださってい
ます。

